

日本学術会議主催学術フォーラム

「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言 — 国民的合意形成へ向けた暫定保管を巡って」

日時:平成27年10月10日(土) 13:00~18:00

場所:日本学術会議講堂 定員:申込み先着300名

開催趣旨

平成27年4月28日に公表された提言「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言—国民的合意形成へ向けた暫定保管」は、公表に至る前から大きな社会的関心を呼んだ。特に今回、平成24年に原子力委員会委員長への回答で、高レベル放射性廃棄物政策の抜本的見直しを提言したが、回答の内容をより具体的な政策へと先に進めることで、改めて、政府に改善を促す対応を試みた。今回の政策提言をベースに多様な立場からの議論をシンポジウム形式で実施する。

次第

13:00~13:30 第Ⅰ部 開催挨拶及び基調報告

「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言」について

今田 高俊(日本学術会議連携会員、東京工業大学名誉教授、統計数理研究所客員教授)

13:30~14:50 第Ⅱ部 基調講演「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言について」

鈴木達治郎(長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授、元内閣府原子力委員会委員長代理)

吉岡 斉(日本学術会議連携会員、九州大学大学院比較社会文化研究院教授、原子力市民委員会座長)

千木良 雅弘(日本学術会議特任連携会員、京都大学防災研究所教授)

寿楽 浩太(東京電機大学未来科学部人間科学系助教)

14:50~15:10 休憩

15:10~17:40 第Ⅲ部 パネルディスカッション

テーマ①暫定保管の方法と期間、②事業者の発生責任と将来世代への責任、

③最終処分に向けた立地候補地とリスク評価、④合意形成へ向けた組織体制

コーディネーター 柴田 徳思(日本学術会議連携会員、日本アイソトープ協会専務理事)

パネリスト 鈴木 達治郎(前出)、吉岡 斉(前出)、千木良 雅弘(前出)、寿楽 浩太(前出)

長谷川 公一(日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院文学研究科教授)

17:40~18:00 第Ⅳ部 総括及び閉会挨拶

山地 憲治(日本学術会議連携会員、地球環境産業技術研究機構理事・研究所長)

日本学術会議案内図



入場料無料

問合せ先:日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-1260

申込みフォーム: (<https://form.cao.go.jp/sci/opinion-0003.html>)